

## 温室効果ガスの総排出量

	京都議定書の 基準年〔シェア〕	2005年度 (基準年比)	2005年度から の増減	2006年度 (基準年比)
合計	1,261 〔100%〕	1,358 (+7.7%)	→ -1.3% →	1,340 (+6.2%)
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	1,144 〔90.7%〕	1,291 (+12.8%)	→ -1.3% →	1,274 (+11.3%)
エネルギー起源二酸化炭素	1,059 〔84.0%〕	1,203 (+13.6%)	→ -1.4% →	1,186 (+12.0%)
非エネルギー起源二酸化炭素	85.1 〔6.7%〕	87.5 (+2.9%)	→ +0.3% →	87.7 (+3.1%)
メタン(CH <sub>4</sub> )	33.4 〔2.6%〕	23.9 (-28.3%)	→ -1.2% →	23.6 (-29.2%)
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	32.6 〔2.6%〕	25.6 (-21.7%)	→ -0.0% →	25.6 (-21.7%)
代替フロン等3ガス	51.2 〔4.1%〕	18.0 (-64.9%)	→ -3.8% →	17.3 (-66.2%)
ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)	20.2 〔1.6%〕	7.3 (-64.1%)	→ -8.8% →	6.6 (-67.3%)
パーフルオロカーボン類(PFCs)	14.0 〔1.1%〕	6.5 (-53.8%)	→ -2.6% →	6.3 (-55.0%)
六ふっ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	16.9 〔1.3%〕	4.2 (-75.0%)	→ +2.9% →	4.3 (-74.3%)

(単位:百万t-CO<sub>2</sub>)

## エネルギー起源 CO<sub>2</sub> の部門別排出量 (電気・熱配分後)

	京都議定書の 基準年〔シェア〕	2005年度 (基準年比)	2005年度から の増減	2006年度 (基準年比)
合計	1,059 〔92.6%〕	1,203 (+13.6%)	→ -1.4% →	1,186 (+12.0%)
産業部門 (工場等)	482 〔42.1%〕	455 (-5.7%)	→ +1.1% →	460 (-4.6%)
運輸部門 (自動車・船舶等)	217 〔19.0%〕	257 (+18.1%)	→ -1.2% →	254 (+16.7%)
業務その他部門 (商業・サービス・事業所等)	164 〔14.4%〕	238 (+44.8%)	→ -3.7% →	229 (+39.5%)
家庭部門	127 〔11.1%〕	174 (+36.7%)	→ -4.9% →	166 (+30.0%)
エネルギー転換部門 (発電所・石油精製所等)	67.9 〔5.9%〕	79.3 (+16.9%)	→ -2.6% →	77.3 (+13.9%)

(単位:百万t-CO<sub>2</sub>)

# 我が国の温室効果ガス排出量

2006年度における我が国の排出量は、基準年比6.2%上回っており、議定書の6%削減約束の達成には、6.8%の排出削減が必要。

